

札幌市企業経営動向調査

問い合わせ先: 札幌市経済観光局産業振興部経済企画課 (Tel211-2352)

この欄は記入しないでください			
整理番号			
市内 1		市外 2	
大 1	中小 2	小 3	

- 1.本調査は、札幌市が今後の産業振興施策推進に必要な資料を得るため実施するものです。
- 2.個々の企業の回答内容を公表したり、他の目的に使用することはありません。
- 3.本社等の場合は全社での判断、支店等の場合は貴支店のみの判断を記入下さい。
- 4.R4下期(R4.10月～R5.3月)のうち、**R5.3月の状況については、見込み**でご回答ください。
- 5.**本線の枠内にご記入ください。**
- 6.**令和5年2月20日(月)まで(必着)**に、同封の返信用封筒にて返送ください。

企業名 代表者氏名	所属・役職 記入者名 連絡先		TEL	-	-
業種(○印)	1. 建設業	2. 製造業	3. 卸売業	4. 小売業	5. 金融・保険・不動産業
	6. 飲食・宿泊サービス業	7. 運輸業	8. 情報通信業	9. その他サービス業	
事業内容					
資本金	万円 ※最近期の決算期末の数字		本社所在地	○印をつけてください 市内 市外	
常用従業員数 ※常用パートを含む	全事業所 ※最近期の決算期末の数字	うち貴事業所分	※企業名に変更あるいは宛先に誤りがある場合は、封筒の宛先に記載されている企業名を下欄にご記入ください。 (旧企業名)		
	人	人			

【札幌市内の景気】

【回答欄】

- 問1. (1) R4年度下期(R4年10月～R5年3月)は、R4年度上期(R4年4月～R4年9月)に比べ
1. 上昇している 2. 横ばい 3. 下降している 4. 不明
- (2) R5年度上期(R5年4月～R5年9月)は、R4年度下期(R4年10月～R5年3月)に比べ
1. 上昇する見通し 2. 横ばい 3. 下降する見通し 4. 不明

【貴社の属する業界の景気】

- 問2. (1) R4年度下期(R4年10月～R5年3月)は、R4年度上期(R4年4月～R4年9月)に比べ
1. 上昇している 2. 横ばい 3. 下降している 4. 不明
- (2) R5年度上期(R5年4月～R5年9月)は、R4年度下期(R4年10月～R5年3月)に比べ
1. 上昇する見通し 2. 横ばい 3. 下降する見通し 4. 不明

【貴社の経営状況】

- 問3. (1) R4年度下期(R4年10月～R5年3月)の貴社の経営は、前年度同期(R3年10月～R4年3月)に比べ
1. 経営が好転している 2. 経営がやや好転している 3. 経営は変わらない
4. 経営がやや悪化している 5. 経営が悪化している
- (2) R5年度上期(R5年4月～R5年9月)の貴社の経営は、前年度同期(R4年4月～R4年9月)に比べ
1. 経営が好転する見通し 2. 経営がやや好転する見通し 3. 経営は変わらない
4. 経営がやや悪化する見通し 5. 経営が悪化する見通し

【貴社の売上高(生産高)】

- 問4. (1) R4年度下期(R4年10月～R5年3月)は、前年度同期(R3年10月～R4年3月)に比べ
1. 増加している 2. 横ばい 3. 減少している
- (2) R5年度上期(R5年4月～R5年9月)は、前年度同期(R4年4月～R4年9月)に比べ
1. 増加する見通し 2. 横ばい 3. 減少する見通し

【貴社の経常利益】

- 問5. (1) R4年度下期(R4年10月～R5年3月)は、前年度同期(R3年10月～R4年3月)に比べ
1. 増加している 2. 横ばい 3. 減少している
- (2) R5年度上期(R5年4月～R5年9月)は、前年度同期(R4年4月～R4年9月)に比べ
1. 増加する見通し 2. 横ばい 3. 減少する見通し

【貴社の資金繰り】

問6. R4年度下期(R4年10月～R5年3月)の貴社の資金繰りは
1. 楽である 2. どちらでもない 3. 苦しい

【貴社の設備投資】

問7. (1) これまでの1年間(R4年2月～R5年1月)に
1. 投資した 2. しなかった

(2) 投資した主な理由は
1. 設備の更新・改修 2. 売上(生産)能力拡大 3. 経営多角化
4. 研究開発 5. 合理化・省力化 6. その他

(3) 今後1年間(R5年2月～R6年1月)に
1. 投資する 2. しない

(4) 投資する主な理由は
1. 設備の更新・改修 2. 売上(生産)能力拡大 3. 経営多角化
4. 研究開発 5. 合理化・省力化 6. その他

【貴社の従業員数(常用雇用者数)】

問8. (1) R5年3月末現在は、前年同月(R4年3月末)に比べ
1. 増加する見込み 2. 横ばい 3. 減少する見込み

(2) R5年9月末現在は、前年同月(R4年9月末)に比べ
1. 増加する見通し 2. 横ばい 3. 減少する見通し

【人材の確保状況】

問9. 貴社における新たな人材の確保状況についてお答えください(当てはまるもの1つ)。
1. 確保できている
2. 確保する必要がない(人材が充足しているため)
3. 確保できていない(確保したいが、人材の応募がないため)
4. 確保できていない(人材の応募はあるが、よい人材がないため)
5. 確保できていない(新たに人材確保する余裕がないため)

【経営上の問題点】

問10. 貴社にとって、現在もっとも重要な課題と思われるものは何ですか(当てはまるもの3つ以内)。
1. 売上不振 2. 収益率の低下 3. 諸経費の増加 4. 人手不足
5. 販売価格の下落 6. 仕入価格の上昇 7. 設備不足 8. 売掛金の回収難
9. 資金調達難 10. 在庫過剰 11. 情報不足
12. その他(具体的に)

【経営改善等に関する企業の取組内容】

問11. 貴社において、経営改善等を図る上で、取り組んでいる、または取り組もうとしている事項についてお答えください(当てはまるもの全て)。
1. 新製品・サービス開発や新分野進出、新市場への販路拡大
2. 海外展開(輸出入など海外企業との取引、外国人材活用など)
3. DX(ITを活用した生産性の向上や高付加価値化、デジタルによるビジネス変革など)
4. クリエイティブ(デザインやコンテンツ)を活用した高付加価値化
5. SDGs※に資する企業活動
6. 脱炭素に資する企業活動
(省エネルギーに資する設備投資や再生可能エネルギーに関する商品の開発等)
7. 同業種・異業種の企業との連携
8. 教育・研究機関との連携
9. その他()
10. 特に取り組むつもりはない

※ SDGs:2015年の国連サミットにて全会一致で採択された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標のこと。

【トレンド・トピック 質問項目(特定質問項目)② 市内企業におけるSDGsに係る取組について】

国際社会共通の目標として「持続可能な開発目標(SDGs)」が掲げられており、2030年の目標達成に向け、世界的に機運が高まっているところです。国が策定した「SDGs実施指針」では、企業が経営戦略の中にSDGsを据え、個々の事業戦略に落とし込むことで、持続的な企業成長を図ることが重要としており、SDGsに取り組むことは経済活動を進める上で不可欠になることが予想されます。
このことから、市内企業におけるSDGsの取組を把握するため、貴社の状況について以下の質問にご回答ください。

問13. (1) 貴社の企業活動においてSDGsをどのように反映させていますか、又は今後どのように反映させる予定ですか(当てはまるもの全て)。

1. 本業に関する取組への反映(SDGsを活用した新規事業の創出、人権・多様性の尊重等)
※ 具体例:脱炭素に資する新商品の開発、多様な働き方を許容する勤務体制の整備
2. 本業以外の取組への反映(社会貢献活動の取組等)
※ 具体例:ボランティア活動(地域のごみ拾い等)への参加
3. 特に取り入れていない、今後取り入れる予定はない → 問13の(3)へ
4. SDGsについて内容を知らない → 質問は以上です。

(2) 問13(1)で1~2を選択した方に伺います。貴社がSDGsに取り組む意義は何ですか(当てはまるもの3つ以内)。

1. 新たな取引先の獲得につながるため
 2. 新規事業の創出につながるため
 3. 投資機会の獲得につながるため
 4. 企業の価値・認知度向上につながるため
 5. ステークホルダー※との関係強化につながるため
 6. ビジネスリスクの低減につながるため
 7. 融資の優遇措置につながるため
 8. 企業の社会的責任として重要であるため
 9. 取引先からの要請があり対応せざるを得ないため
 10. その他()
- ※ ステークホルダー:株主や取引先、顧客、金融機関等、企業組織におけるあらゆる利害関係者のこと。

(3) SDGsの機運の高まりにより、貴社の取引先の動向に変化はありますか(当てはまるもの全て)。

1. 環境面(再生可能エネルギーの使用、環境負荷軽減等)に対する要求が新たに行われるようになった、又は従来より要求事項が厳しくなった
2. 社会面(人権関連、雇用労働法令関連等)に対する要求が新たに行われるようになった、又は従来より要求事項が厳しくなった
3. 社会貢献活動に対する要求が新たに行われるようになった、又は従来より要求事項が厳しくなった
4. その他()
5. 特に変化はない

(4) 貴社がSDGsに取り組む際の課題は何ですか(当てはまるもの全て)。

1. 取り組むことによるメリットが分からない
2. 何から取り組んで良いか分からない
3. 取り組むためのノウハウがない
4. 取り組むための財政的余裕がない
5. 取り組むための人的余裕がない
6. 具体的な目標設定や評価方法が分からない
7. 業務量の増加につながる
8. どのレベルまで対応が必要か分からない
9. 社内の理解度が低い
10. 優先順位が低い
11. その他()
12. 特に課題はない

(5) 貴社がSDGsに取り組む上で、行政や中小企業支援機関等に望む支援策は何ですか(当てはまるもの3つ以内)。

1. 自社が行うSDGsの取組のPR
2. SDGsに係る取組の好事例の紹介
3. SDGsに関するセミナー等の開催
4. SDGsに関する社内教育への支援
5. SDGsに取り組む企業に対する融資制度等の優遇措置
6. SDGsの取組に関する経営相談・アドバイス
7. SDGsに取り組む企業間のビジネスマッチングの機会
8. その他()
9. 特にない
